

# 交 流 通 信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶企画課 23局3507

## 姉妹都市 韓国・ソウル特別市銅雀区との交流

今回は、昨年トシの11月に姉妹都市提携を結んだ韓国・ソウル特別市銅雀区をご紹介します。

### 銅雀区のプロフィール

銅雀区は、ソウル市内を東西に流れる漢河ハンガンという川の南、市の中心ソウル駅・南大門から地下鉄で約20～30分の所に位置する人口約40万の地区です。

16.35Km<sup>2</sup>ある面積のほとんどを住宅が占めるソウルのベッドタウンですが、区内には、43万坪の敷地をほこる国立墓地「国立顕忠院」や、名門校である崇実大学校・中央大学校など、ソウルの重要施設もあります。



▲ 大部分を住宅が占める銅雀区の町並み

### ▼ 国立顕忠院



### 銅雀区庁の職員が研修に訪れました

11月12日(月)から16日(金)にかけて、銅雀区の職員が田原市を訪れ、日本や田原市の行政などについて学びました。

6月に続き2度目となる今回の研修では、4名の職員が訪れ、各自が銅雀区で担当しているそれぞれの分野を中心に学んだほか、田原市の行政の特徴的な分野についても説明を受けました。銅雀区との行政手法の違いや、田原市の環境への取り組みなどについては、たいへん興味を持った様子でした。



▲ 真剣に研修を受ける銅雀区職員の皆さん



▲ 議場を見学する銅雀区議員の皆さん

ちなみに、銅雀区議員の皆さんは、今年4月、田原市の議会などを視察するために、田原市を訪れています。

たとか。 議会の構成は田原市とほぼ同じですが、議員数は40万の人口に対し17人と田原市より少なく、また、昨年までは無報酬だったとか。

銅雀区は、銅雀区が「区」として新設された1980年。議会制度が始まって、まだ30年に達していません。

日本とはちょっと違う!?

韓国・銅雀区の  
「議会」制度